



演習林の「安全衛生管理」

演習林安全衛生管理委員会 荒木田善隆

演習林(8力所):職員数158名

千葉, 北海道, 秩父, 愛知, 富士, 樹芸, 田無, 研究部

(法人化)(2004. 4)

「国家公務員法」-「人事院規則」

「労働基準法」-「労働安全衛生法」

(分断スタート)

単独事業場(4):千葉, 北海道, 秩父, 愛知

本郷事業場(4):富士, 樹芸, 田無, 研究部

演習林の「安全衛生管理」の統一

(4事業場と本郷事業場に組み入れたれた4施設が, それぞれ個別に「安全衛生管理」に取り組むには多くの負担が強いられる)

1. 「安全作業の手引き」の作成

<内容>

(2005年4月)

- ・種苗, 造林, 直営生産, 土木, 収穫調査に係る個々の作業毎(人力, 機械等)の遵守事項等を細目に渡って記載
- ・作業日誌及びヒヤリハット報告の義務づけ
- ・作業開始前, 終了時のTBMの励行

2. 『演習林安全衛生管理委員会』の立ち上げ

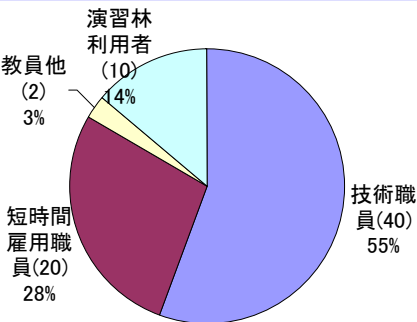
<業務>

(2008年6月)

- ・災害・HH情報取りまとめ→演習林全体に周知
- ・災害・HH情報の傾向の分析と対策(注意喚起!)
- ・研究科MSの推進, 演習林内の取りまとめ
- ・講習会等安全衛生関係事業の推進

<委員構成>

委員長→委員(教員代表・技術職員代表)→各演委員(教授) (研究部長・統括技術長) (MS担当者)



安全日誌

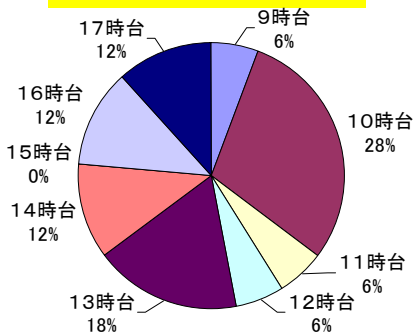
月	日	曜日	天候	作業内容	記録者(当番)
点検項目	結果	点検項目	結果		
1. 服装はよい		9. 安全呼称は励行されているか			
2. 作業用具並びに機械類の整備状況はよい		10. 作業指示は徹底されているか			
3. 作業の段取りはよい		11. 作業確認は励行されているか			
4. 作業内容の励行はよい		12. 健康状況はよい			
5. 作業動作はよい		13. 振動機械使用の有無(有る○ 無し×)			
6. 作業のチームワークはよい		14. 始業時のTBMの有無(有る○ 無し×)			
7. 林業体験の励行はよい		15. 終業時のTBMの有無(有る○ 無し×)			
8. 緊急用品は励行されているか					
1. 安全についての記録及び意見又は感想					
2. 衛生推進者又は衛生推進補助者の指示事項					
ヒヤリ、ハット通報					
ハットしたこと(O印)		どの部分を(X印)		どうした(O印)	
1. 転倒	10. ハチ		1. どうもしなかった		
2. 墜落	11. 塗料		2. 切り傷		
3. 踏石	12. 踏みぬき		3. すり傷		
4. 落木	13. 踏みはずし		4. 刺傷		
5. 笹木の誘惑	14. スリップ		5. 打撲		
6. 蛇・蟻・蜂	15. 衝突		6. 捻挫		
7. 羽払機	16. 追突		7. やけど		
8. チェンソー	17. マムシ		8. うちみ		
9. マムシ					
※通報の具体的な内容					
※TBMでの話し合い 有・無					
原因・対策					
通報の方法など					
月	日	(方法: 口頭 TEL その他)	誰に(衛生推進者 衛生推進補助者 その他)		
確認印					

安全日誌

種別	件数	20,30代件数
歩行中	19	10
蜂遭遇	14	8
スノーモビル	10	8
公用車	10	7
玉切り丸太転がり	8	7
道具類の手離れ等	6	4
危険動物遭遇	5	4
枝、雪塊落下	4	3
落石遭遇	4	3
グラブ作業	3	3
チェンソー関連	3	1
伐採木異方向倒れ	2	1
その他	14	9
	102	

ヒヤリハットの種別

職種別被災率(72件)



災害の発生時刻(蜂刺され除く)

10時台(5件)内訳: 10分(1件), 30分(4件)

↓(小休止後?)

対策: 作業再開時のTBMの実施喚起!